

第 部

討議議事録等

目 次

はじめに	223
1 . 討議議事録 (R / D)	225
2 . 暫定実施計画 (T S I)	245
3 . ミニッツ	248

はじめに

「フィリピン 農民参加によるマージナルランドの環境及び生産管理計画」プロジェクトについては、1999年12月の短期調査時ミニッツを受けて日本・フィリピン両国で協議した結果、2000年1月12日付で、国際協力事業団フィリピン事務所所長 小野英男と、フィリピン農業省次官 CESAR M. DRILON, JR. 氏の間で討議議事録 (Record of Discussions : R / D) 等関係文書の署名が取り交わされ、2000年2月1日から5年間にわたって、プロジェクト方式技術協力が開始されることになった。

プロジェクトの概要は次のとおりである。

プロジェクトは、パイロット・マージナルランド3地域（低地、丘陵地、高地）を設定し、それぞれに適した土壌保全・水管理技術を確立して、マージナルランドにおける営農システム開発をめざす。

実施機関はフィリピン農業省土壌・水管理局（BSWM）で、本局及びマージナルランド3地域の土壌・水資源研究開発センターで技術開発・研究を行う一方、低地、丘陵地、高地の各マージナルランド計3か所に、住民参加型のテクノデモファーム（技術展示圃：TDF）を設けて、技術開発と、その実証展示を行う。

日本側はこのプロジェクトのために長期専門家5名（チーフアドバイザー、業務調整、土壌肥沃度管理、土壌保全、土壌・土地評価）と、必要に応じて短期専門家を派遣するほか、フィリピン側カウンターパート（C/P）の日本研修受入れ、機材供与等の措置をとることになっている。

以下は、両国が合意したR/D、暫定実施計画（Tentative Schedule of Implementation : TSI）、ミニッツである。

